

<これまでの成果>

- 学校図書館サポーター・学校司書を配置
 - 来館者・貸出冊数の増加
 - 授業における学校図書館の活用等の増加

- 「読書は好き」当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合が増加
 - 小6:H21年度 66.9% ⇒ **H29年度 71.2%**
 - 中3:H21年度 54.1% ⇒ **H29年度 58.0%** (全国学力・学習状況調査)

<国の動き>

- 学校図書館関係の地方交付税措置
 - 学校司書 H24~28 2校に1人
 - H29~ 1.5校に1人
- 学校図書館法の改正 (H27.4施行)
- 第5次学校図書館図書整備等5か年計画(H29~)

いつでも「開いている・使える・人がいる」学校図書館づくり と 読書習慣の育成

学校図書館サポーターの配置 (36,548千円)

学校図書館サポーター

研修による資質の向上

名称	学校図書館サポーター
活用方法	人材バンクシステムに登録し、各学校が依頼する
活動内容	・貸出や環境整備 ・読み聞かせ 等
時間・謝礼金	1回3時間程度 2,400円
活動回数	学校司書配置校 51回×70校 学校司書未配置校 201回×58校
資質向上	年間2回の研修を実施

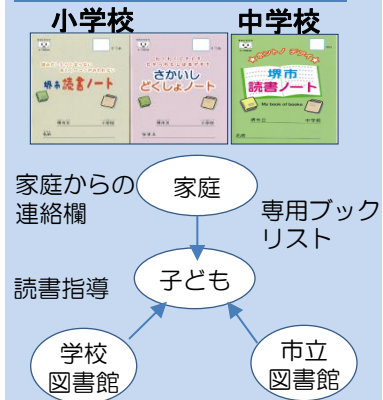
学校図書館サポーターの資質向上 (38千円)

- ◆学校図書館サポーター研修(年間2回:研修)
- 学図書館職員 学校司書 → 学校司書や市立図書館職員等を研修講師としたスキルアップ研修を開催
- 市立図書館職員

学校司書の配置 (A 14,871千円) (B 30,870千円)

- 学校図書館職員 (学校司書A)
- 5小中学校
- ◆「学校図書館職員(OB非常勤職員)」拠点校 (5小中学校)
 - 資格要件 週29時間勤務 有 (教員経験、司書または司書教諭の免許)
 - 活動内容
 - ①専門知識を生かした読書指導
 - ②並行読書や調べ学習などへの学習支援
 - ③小中学校への巡回訪問
 - ◆「学校司書(非常勤職員)」70小中学校
 - 資格要件 週18時間勤務 1人で2校勤務 有 (司書または司書補、司書教諭の免許、学校図書館サポーターとしての活動実績)
 - 活動内容
 - ①専門知識を生かした読書指導
 - ②並行読書や調べ学習などへの学習支援
 - ③中学校区内小学校への巡回訪問
- 学校司書 (学校司書B)
- 70小中学校

読書ノート (1,455千円)



司書教諭の資質向上 (38千円)

- ◆司書教諭研修(年間2回:研修)
- 学校司書・学校図書館サポーターとの効果的な連携・学校図書館の授業での活用について、研修

市立図書館との連携

<期待される効果>

- ・学校図書館職員、学校司書、学校図書館サポーター等の人員配置により、「学校図書館にいつでも人がいる」状態をつくることで、児童生徒の読書活動や学習活動が促進される。
- ・全小中学校対象に、学校図書館職員・学校司書による巡回訪問指導を実施することにより、学校の個別課題に即した指導助言が可能になり、児童生徒が使いやすい学校図書館の環境が整う。